

催し物のご案内 (11~2月)

観察会・講座等

1. 野外観察および室内実習「鉱物ウォッチング」[山北町谷ヶおおよび博物館実習実験室]
日時:12月14日(土)9:30~16:00
対象:小中学生とその保護者 50名(抽選)
募集:11月5日(火)~26日(火)
2. ボランティア体験講座「博物館学芸員の仕事」[博物館]
日時:1月10日(金)・17日(金)・22日(水)・24日(金)・31日(金)10:00~15:00
分野:動物(魚・昆虫)、植物、古生物、地球環境
対象:一般 分野ごとに各10名程度(抽選)
募集:12月3日(火)~24日(火)
3. 野外観察「地形ウォッチング」[箱根町大涌谷周辺]
日時:1月11日(土)10:00~15:00
対象:小中学生とその保護者 50名(抽選)
募集:12月3日(火)~24日(火)
4. 研究テクニック講座「図鑑を作ろうー魚編ー」[博物館]
日時:1月19日(日)・26日(日)9:30~16:00
対象:一般 10名(抽選)
募集:12月3日(火)~24日(火)
5. 野外観察および室内実習「地球講座ー石・大地・地球をみるー」[博物館および博物館周辺]
日時:[室内]2月2日(日)・23日(日)13:30~16:00; [室内・野外]2月9日(日)・16日(日)10:00~16:00
対象:一般 20名(抽選)
募集:12月24日(火)~1月21日(火)

6. 野外観察「モンキーウォッチング」
[小田原市入生田周辺]
日時:2月8日(土)10:00~15:00
対象:小中学生とその保護者 50名(抽選)
募集:12月24日(火)~1月21日(火)
申込方法:往復はがきに参加行事名、参加代表者の住所、氏名、電話番号(連絡先)、参加する人全員の氏名と年齢(学年)を明記して、お申込ください。「博物館学芸員の仕事」は、希望分野もお書きください。参加費は無料です。

身近な自然発見講座

毎月第3水曜日に、一般の方を対象に、博物館周辺での自然観察や館内での実習・実験をする身近な講座を開催しております。参加費は無料で、事前の申し込みはありません。当日博物館正面玄関前にお集まり下さい。雨天のときは中止します。持ちもの:筆記用具、ルーペ、昼食、雨具等

[第8回]11月20日(水)10:00~15:00
ー岩石の観察を中心としてー

[第9回]1月15日(水)10:00~15:00
ー野鳥の観察を中心としてー

[第9回]2月19日(水)10:00~15:00
ー野鳥の観察を中心としてー



ライブラリー通信

博物画家の伝記

この夏に、日本の博物画家に関する本が出版されました。『鳥を描き続けた男』(晶文社)、鳥類画家小林重三の伝記です。小林は日本の鳥の三大図鑑と言われる、黒田長禮『鳥類原色大図説』(修教社書院)、山階芳麿『日本の鳥類と其生態』(梓書房・岩波書店)、清棲幸保『日本鳥類大図鑑』(講談社)のいずれにも鳥類画を描いた人で、その後も多くの鳥や哺乳類の画をまさに描き続けました。最近では写真や印刷の技術進歩により、美しいカラー写真の図鑑が多くなりましたが、それ以前は小林のような博物画家が活躍していたのです。博物画の歴史はヨーロッパが古く、最盛期の18世紀には、さまざまな図鑑や図譜がつくられ、そのために多くの博物画が描かれました。黄金時代を迎えた博物学のおかげで「博物画」、「博物画家」というジャンルが生まれたのです。

なかでも鳥類画家のオーデュボンとジョン・グールドは大変有名で、とても素晴らしい絵画を残しています。それぞれ『オーデュボン伝』(平凡社)、『ジョン・グールド鳥人伝説』(どうぶつ社)という伝記があります。また、植物画家については『植物図譜の歴史』(八坂書房)や『ウィリアム・カーティス花図譜』(同朋舎出版)等に詳しく紹介されています。

一方、日本でも同じく、18世紀の江戸時代に博物学の隆盛期がありました。『彩色 江戸博物学集成』(平凡社)では、30名程の江戸期の博物学者の業績や博物画を見ることが出来ます。『博物学者列伝』(八坂書房)も博物画家を知る上で役立つでしょう。博物画家の世界に、もっと光を当てるべきではないでしょうか。(当館司書・土屋定夫)

館の活動

平成8年度

- 7月17日 野外観察「身近な自然発見講座ーコケの観察を中心としてー」【参加者:30名】[博物館周辺](講師:当館学芸員 生出智哉・勝山輝男)
- 7月20日~9月23日 特別展「追われる生きものたちー神奈川県レッドデータ調査が語るものー」開催(期間中の日曜日、祝日に特別展の展示解説を実施)
- 7月20日 特別展「追われる生きものたち」図録発行
- 7月21日・30日・8月24日(3日間)室内学習「標本を調べよう」【参加者:7月21日13名、30日5名、8月24日11名】(講師:当館学芸員 苅部治紀・勝山輝男・木場英久ほか)
- 7月23日~24日 野外観察「夜の昆虫探検隊」【参加者:42名】[厚木市鷹尾山](講師:神田女学院 神部昭夫、愛川町役場 藤田裕、東京農業大学 松木慶一、当館学芸員 高桑正敏・苅部治紀)
- 8月2日 15年次教員研修「教員のための博物館講座」【参加者:67名】(講師:当館学芸員 中村一恵・小出良幸・田中徳久・佐藤武宏)
- 8月15日 広報誌『自然科学のとびら』第2巻第3号(通巻第6号)発行
- 8月17日 特別展講演会「神奈川県自然の危機を告げるレッドデータ生物」【参加者:105名】(講師:平塚市博物館学芸員 浜口哲一)
- 8月21日 野外観察「身近な自然発見講座ー動植物の観察を中心としてー」【参加者:23名】[博物館周辺](講師:当館学芸員 勝山輝男・新井一政・田中徳久)
- 8月27日 室内学習「博物館探検隊」(「かながわサイエンスウィーク」参加行事)【参加者:113名】(講師:当館学芸員 田中徳久)
- 9月1日~10月5日 かながわ県民アカデミー「里山の自然を考える」【参加者:9月1日28名、7日23名、8日22名、15日12名、28日20名、10月5日15名】[博物館講義室および野外](外部講師:大阪府立大学教授 石井実、箱根町立湿生花園 井上香代子、舞岡公園を育む会 小林哲子・大沢敬志、当館学芸員 中村一恵・高桑正敏・勝山輝男ほか)
- 9月18日 野外観察「身近な自然発見講座ー動植物の観察を中心としてー」【参加者:22名】[博物館周辺](講師:当館学芸員 勝山輝男・生出智哉・新井一政)
- 9月21・22日 研究テクニック講座「植物分類・生態講座」【参加者:21日54名】[博物館および箱根町駒ヶ岳](講師:当館学芸員 田中徳久)9月22日は雨天のため中止
- 10月10日 野外観察「地形観察会ーKOZUウォーキングー」【参加者:29名】[小田原市国府津付近](講師:当館学芸員 小出良幸・山下浩之・新井田秀一)